

# 第93期報告書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

# NOSAN



## 日本農産工業株式会社

〒220-8146 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
横浜ランドマークタワー46階

(本誌内容に関することは、経営企画室にお問い合わせください。)

TEL (045) 224-3717 FAX (045) 224-3721

【決算情報は、ホームページでもご覧いただけます。】

URL <http://www.nosan.co.jp>



# NOSAN

日本農産工業株式会社

# FEED

飼料事業

# FOOD

食品事業

# LIFETECH

ライフテック事業



◀青森県  
世界遺産 白神山地  
十二湖・青池

### ●目次

株主の皆様へ	2
営業の概況	3
連結財務諸表	7
単体財務諸表	11
株式の状況	12
会社概要	13
企業メッセージ・ 株主優待制度のご案内	14

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、ここに第93期（2008年4月1日～2009年3月31日）報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ノーサングループは、「食といのちの未来をひらく」を企業メッセージとして、常に成長を目指す企業グループです。グループとしての社会的使命「いのちの営みを通じて、人々の健康と幸せに貢献します」を全ての企業活動の礎（いしずえ）として、広く社会に貢献することを経営方針に掲げて活動しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
小野 浩二

2009年6月23日の取締役会におきまして、私、小野浩二が新たに代表取締役社長に就任いたしました。

### 小野浩二 ● Profile

#### 略歴

1975年4月	三菱商事㈱入社
2001年5月	米国三菱商事会社ポートランド支店長
2003年12月	英国三菱商事会社生活産業部長
2005年2月	三菱商事㈱食糧本部穀物ユニットマネージャー
2008年4月	当社上席執行役員、 ライフテック・原料担当兼ライフテック部長
2008年6月	当社常務取締役、 ライフテック・原料担当兼ライフテック部長
2009年6月	当社代表取締役社長

当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上期における原油など素材価格の高騰に加え、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響から、企業の設備投資や個人消費は減少し、景気は大幅に悪化の様相を呈しています。

飼料・食品業界においては、投機資金の穀物相場への流入やバイオエタノール需要の拡大などから、とうもろこし・大豆粕をはじめとする原材料価格が高値で推移したため、畜産飼料価格は昨年引き続き大幅に値上がりしましたが、金融危機による投機資金の穀物相場からの流出などから原材料価格が下落したため、本年1月からは値下がりとなりました。また、鶏肉・豚肉相場は上期こそ高値で推移したものの、景気後退にともなう雇用環境の悪化などから消費者の生活防衛意識が高まり、下期の畜産物相場は軟調に推移しました。

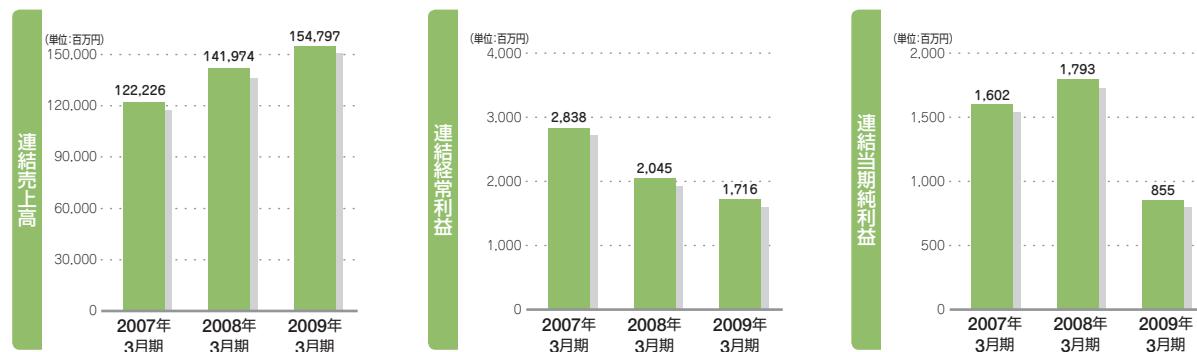
このような環境のなか、当社グループは、前中期経営計画「NBT (Nosan Break Through: ノーサン・ブレイク・スルー) s t e p.1」を踏襲した新中期経営計画

「NBT s t e p.2」をスタートさせ、事業展開のスピードアップと具体的な成果の実現に向けて取り組みました。

その一環として、各部門における意思決定の迅速化と事業間の連携強化を図るため、会社組織を本部制から担当役員制に変更しました。また、三菱商事グループとの相乗効果を活かして、収益基盤の強化と企業価値向上に取り組みました。

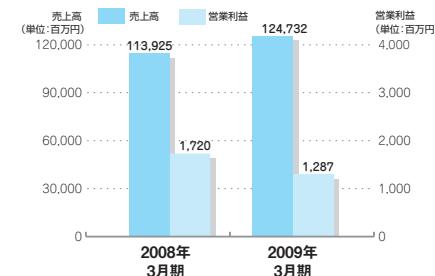
以上の結果、売上高は1,547億97百万円（前期比109%、128億23百万円の増収）となりましたが、経常利益は飼料事業や食品事業において原材料価格の高騰を製品価格に転嫁しきれなかった影響で、17億16百万円（前期比84%、3億29百万円の減益）となりました。また、特別利益として保険金収入など1億67百万円を計上した一方、貸倒引当金繰入れ1億56百万円などの特別損失2億73百万円を計上したため、当期純利益は8億55百万円（前期比48%、9億37百万円の減益）となりました。

部門別の概況は次のとおりです。



飼料事業

F E E D



畜産飼料の全国流通量は、畜種ごとに増減はあったものの、全体では前期並みとなりました。

当社グループにおいては、受託製造の減少などにより、販売数量は前期に比べ減少しましたが、売上高は販売価格の値上げにより前期を上回りました。また、昨年11月より合弁会社である道東飼料株式会社において道内唯一の牛用代用乳製造ラインが稼働し、安全・安心に配慮した多様なニーズに応える牛代用乳を供給しています。加えて、各工場においてISO9001の認証や抗菌剤GMP（適正製造基準）への適合などにより品質管理体制の更なる強化を図りました。

収益面においては、原材料価格の高騰を製品価格に転嫁しきれなかったことや配合飼料価格安定基金積立金の積み増しなどによるコスト負担増から減益となりました。

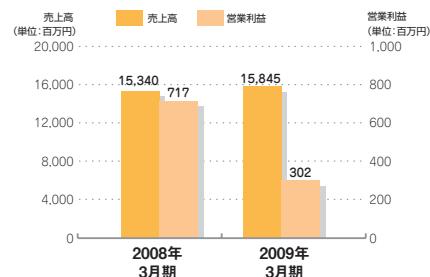
水産飼料においては、魚価格低迷の影響などからタイ用・ハマチ用飼料が減少したことにより、販売数量、収益ともに前期を下回りました。

以上の結果、売上高は1,247億32百万円（前期比109%、108億7百万円の増収）となり、営業利益は12億87百万円（前期比75%、4億33百万円の減益）となりました。



食品事業

F O O D



「ヨード卵・光」の機能性と安全・安心を積極的にアピールするため、学会発表や食育に係わる活動を継続的に実施したほか、NPO法人の活動支援など社会貢献活動にも取り組みました。また、販促活動としてパッケージリニューアルの実施や「ヨード卵・光」の特徴を活かしたタマゴ料理を提供するカフェを期間限定で出店するな

どしましたが、景気後退による消費者の節約志向から販売数量は前期を下回りました。

収益面においては、生産資材価格および物流費の高騰によるコスト上昇分の一部を販売価格に反映させ、昨年12月に「ヨード卵・光」の値上げを実施しましたが、コスト負担増を吸収するには至らず、減益となりました。

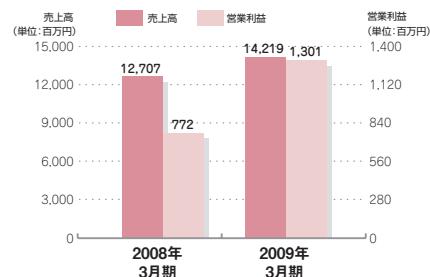
鶏卵農場子会社においては、鶏卵相場が前年に比べ高値で推移したものの、コストの増加が影響し、厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は158億45百万円（前期比103%、5億4百万円の増収）となり、営業利益は3億2百万円（前期比42%、4億15百万円の減益）となりました。



ライフテック事業

L I F E T E C H



ペットフードでは、動物病院向けペットフードの売上は微増ながらも、子会社ペットラインの主力商品「キャネットチップ」の売上が全面リニューアル効果により前期に引き続き増加したのに加え、犬・猫用のプレミアムペットフードも好調で、前期に比べ大幅な増益となりました。

バイオ新分野では、各種試薬類の売上は堅調でしたが、受託試験の売上が前年を下回りました。

以上の結果、売上高は142億19百万円（前期比112%、15億11百万円の増収）となり、営業利益は13億1百万円（前期比168%、5億28百万円の増益）となりました。



次期の見通し

世界経済の急激な減速を受け、国内景気も一層厳しさを増すものと思われます。

飼料・食品業界においては、畜産物相場の低迷や、財源枯渇による配合飼料価格安定基金積立金の積み増しなど、厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと飼料事業では、お客様ニーズに基づく新製品の開発・販売を積極的に推進すると同時に、三菱商事グループとのアライアンスを最大限活用して販売戦略を強化します。

食品事業では、引き続き「ヨード卵・光」の品質向上に注力するとともに、安全・安心への取り組みを一層強化することで販売数量の回復に努めます。また、「ヨード卵・光」を使った新たな商品開発に着手し、更なるブランドの拡大を図ります。

ライフテック事業では、ペットフードの新商品・リニューアル商品の投入を継続的に実施するとともに、製造能力の拡大にも着手します。また、バイオ新分野では引き続き新技術・新商品の開発に取り組みます。

各事業において販売に注力していくなかでも、ノーサングループ全体として品質管理体制を一層強化し、ノーサングループの社会的使命「いのちの営みを通じて、人々の健康と幸せに貢献します」を全ての企業活動の礎（いしずえ）とし、広く社会に貢献してまいります。

これらの結果、次期の売上高は1,410億円（前期比91%）、営業利益は27億円（前期比185%）、経常利益は25億円（前期比146%）、当期純利益は14億円（前期比164%）を見込んでいます。

● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期末 (2009年3月31日現在)	前期末 (2008年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>			
流動資産		36,423	38,351
固定資産		23,845	24,476
有形固定資産		15,422	16,249
無形固定資産		403	550
投資その他の資産		8,019	7,676
<b>資産合計</b>		<b>60,269</b>	<b>62,827</b>
<b>【負債の部】</b>			
流動負債		31,397	34,486
固定負債		7,017	6,341
<b>負債合計</b>		<b>38,414</b>	<b>40,827</b>
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本		21,770	21,703
資本金		7,411	7,411
資本剰余金		2,767	2,767
利益剰余金		13,248	13,183
自己株式		△ 1,657	△ 1,658
評価・換算差額等		62	286
その他有価証券評価差額金		103	296
為替換算調整勘定		△ 40	△ 9
新株予約権		21	10
<b>純資産合計</b>		<b>21,854</b>	<b>22,000</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>60,269</b>	<b>62,827</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末に比べ、25億58百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少7億37百万円、たな卸資産の減少7億7百万円、有形固定資産の減少8億26百万円等によるものです。

POINT

当連結会計年度末における負債合計は前連結会計年度末に比べ、24億13百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少19億5百万円等によるものです。

POINT

当連結会計年度末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ、1億45百万円の減少となりました。これは主として当期純利益8億55百万円、配当金の支払7億90百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億92百万円等によるものです。

● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	前期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
売上高		154,797	141,974
売上原価		138,188	125,586
<b>売上総利益</b>		<b>16,609</b>	<b>16,387</b>
販売費及び一般管理費		15,152	14,596
<b>営業利益</b>		<b>1,456</b>	<b>1,791</b>
営業外収益		584	613
営業外費用		324	359
<b>経常利益</b>		<b>1,716</b>	<b>2,045</b>
特別利益		167	1,622
特別損失		273	448
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>1,609</b>	<b>3,219</b>
法人税、住民税及び事業税		607	1,073
法人税等調整額		129	334
少数株主利益		17	17
<b>当期純利益</b>		<b>855</b>	<b>1,793</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

ライフテック事業は、ペットフード事業が好調であったため増益となりましたが、飼料事業や食品事業において原材料価格の高騰を製品価格に転嫁しきれなかった影響で、全社での利益は減益となりました。

● 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	前期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
株主資本			
資本金			
前期末残高		7,411	7,411
当期変動額		—	—
当期変動額合計		—	—
当期末残高		7,411	7,411
資本剰余金			
前期末残高		2,767	2,766
当期変動額		△ 0	1
自己株式の処分		△ 0	1
当期変動額合計		△ 0	1
当期末残高		2,767	2,767
利益剰余金			
前期末残高		13,183	12,179
当期変動額		△ 790	△ 789
剰余金の配当		855	1,793
当期純利益		65	1,004
当期変動額合計		65	1,004
当期末残高		13,248	13,183
自己株式			
前期末残高		△ 1,658	△ 1,693
当期変動額		△ 1	△ 2
自己株式の取得		2	36
自己株式の処分		1	34
当期変動額合計		△ 1,657	△ 1,658
当期末残高		△ 1,657	△ 1,658
株主資本合計		21,770	21,703
前期末残高		21,703	20,663
当期変動額		△ 66	1,040
当期変動額合計		△ 66	1,040
当期末残高		21,770	21,703

科目	期別	当期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	前期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金			
前期末残高		296	1,407
当期変動額		△ 192	△ 1,111
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)		△ 192	△ 1,111
当期変動額合計		△ 192	△ 1,111
当期末残高		103	296
為替換算調整勘定			
前期末残高		△ 9	—
当期変動額		△ 30	△ 9
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)		△ 30	△ 9
当期変動額合計		△ 30	△ 9
当期末残高		△ 40	△ 9
評価・換算差額等合計		286	1,407
前期末残高		286	1,407
当期変動額		△ 223	△ 1,121
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)		△ 223	△ 1,121
当期変動額合計		△ 223	△ 1,121
当期末残高		62	286
新株予約権			
前期末残高		10	1
当期変動額		11	8
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		11	8
当期変動額合計		11	8
当期末残高		21	10
純資産合計		22,000	22,072
前期末残高		22,000	22,072
当期変動額		△ 790	△ 789
剰余金の配当		855	1,793
当期純利益		△ 1	△ 2
自己株式の取得		1	38
自己株式の処分		△ 211	△ 1,112
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		△ 211	△ 1,112
当期変動額合計		△ 145	△ 72
当期末残高		21,854	22,000

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	前期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー		2,873	889
● 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,206	620
フリーキャッシュ・フロー		1,667	1,510
● 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,552	△ 1,553
現金及び現金同等物の増・減(△)		114	△ 43
現金及び現金同等物の期首残高		484	528
現金及び現金同等物の期末残高		599	484

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

営業活動の結果得られた資金は、28億73百万円となりました。これは主として税金等調整前当期純利益が16億9百万円、売上債権の減少7億18百万円、たな卸資産の減少6億45百万円等によるものです。

POINT

投資活動の結果使用した資金は、12億6百万円となりました。これは主として固定資産の取得による支出13億9百万円、固定資産の売却による収入2億73百万円等によるものです。

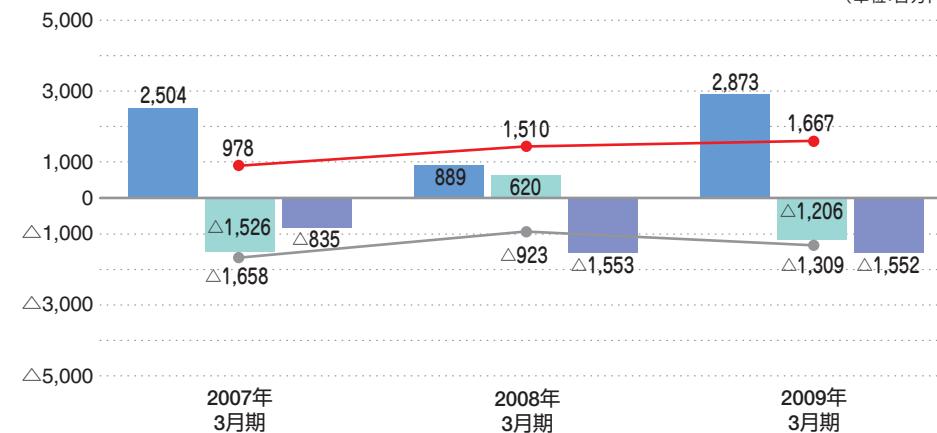
POINT

財務活動の結果使用した資金は、15億52百万円となりました。これは主として配当金の支払額7億84百万円、借入金の減少5億27百万円等によるものです。

● 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
- フリーキャッシュ・フロー
- 設備投資額

(単位:百万円)

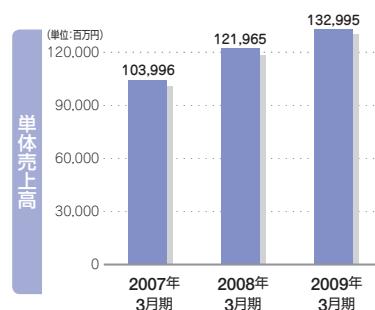


● 単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期末 (2009年3月31日現在)	前期末 (2008年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>			
流動資産		32,734	35,310
固定資産		16,445	17,293
有形固定資産		8,265	8,843
無形固定資産		365	501
投資その他の資産		7,814	7,948
資産合計		49,180	52,604
<b>【負債の部】</b>			
流動負債		27,168	30,355
固定負債		5,477	5,033
負債合計		32,645	35,388
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本		16,396	16,901
資本金		7,411	7,411
資本剰余金		2,767	2,767
資本準備金		2,731	2,731
その他資本剰余金		36	36
利益剰余金		7,874	8,380
自己株式		△ 1,657	△ 1,658
評価・換算差額等		116	304
その他有価証券評価差額金		116	304
新株予約権		21	10
純資産合計		16,534	17,216
負債・純資産合計		49,180	52,604

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



● 単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	前期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
売上高		132,995	121,965
売上原価		121,821	110,911
売上総利益		11,173	11,053
販売費及び一般管理費		10,865	10,251
営業利益		308	802
営業外収益		448	380
営業外費用		322	332
経常利益		434	850
特別利益		73	1,634
特別損失		19	427
税引前当期純利益		488	2,057
法人税、住民税及び事業税		32	730
法人税等調整額		171	611
当期純利益		284	716

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 株式の状況

(2009年3月31日現在)

- 発行済株式の総数..... 129,309千株
- 株主数..... 14,985名

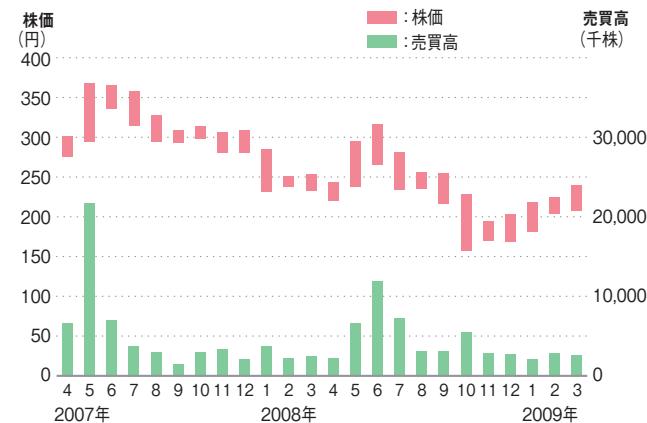
● 大株主

(2009年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	68,207	52.74
株式会社日清製粉グループ本社	3,650	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,702	2.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,477	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,230	0.95
株式会社中村商会	500	0.38
東洋物産株式会社	458	0.35
住友生命保険相互会社(特別勘定)	278	0.21
パークレイズキャピタルセキュリティーズロンドンケイマンクラリアツ	264	0.20
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	150	0.11

(注) 自己株式、社員持株会をのぞく

● 株価チャート

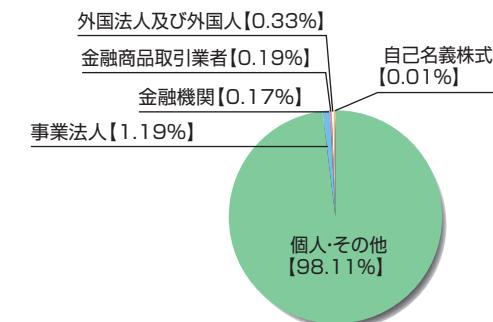


● 株式の所有者別状況

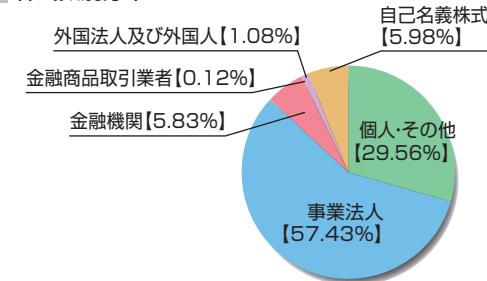
(2009年3月31日現在)

区分	株主数(名)	比率(%)	株式数(千株)	比率(%)
個人・その他	14,702	98.11	38,229	29.56
事業法人	179	1.19	74,270	57.43
金融機関	24	0.17	7,534	5.83
金融商品取引業者	29	0.19	150	0.12
外国法人及び外国人	50	0.33	1,399	1.08
自己名義株式	1	0.01	7,727	5.98
合計	14,985	100.00	129,309	100.00

● 株主数別分布



● 株式数別分布



免責事項=本報告書に掲載されている当社の計画・戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績などは、様々な要因により、見通しなどと大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。将来予測に関する記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

● 会社概要

社名 日本農産工業株式会社  
(Nosan Corporation)

本社所在地 〒220-8146  
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
横浜ランドマークタワー46階  
TEL(045) 224-3700 (大代表)

設立年月日 1931年8月6日

資本金 74億1,149万円

従業員数 436名  
(従業員数は、就業人員であり、当社から関係会社への出向者の人数を含んでおりません。)

主な取引銀行 横浜銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱東京UFJ銀行、  
農林中央金庫

(2009年3月31日現在)

● 役員

代表取締役社長 小野 浩 二

常務取締役 川崎 崇 夫

常務取締役 山根 恭 一

常務取締役 田中 猛

社外取締役 垣内 威彦

監査役(常勤) 富沢 健

監査役 松尾 翼

監査役 木下 克己

(2009年6月23日現在)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 基準日 毎年3月31日  
(そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。)
- 公告方法 電子公告により行います。  
ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL：<http://www.nosan.co.jp>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)

● お知らせ

- [1] 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- [2] 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

企業メッセージ

食といのちの未来をひらく

ノーサングループは、「食といのちの未来をひらく」を企業メッセージとして、常に成長を目指す企業グループです。グループとしての社会的使命「いのちの営みを通じて、人々の健康と幸せに貢献します」を全ての企業活動の礎(いしずえ)として、「7つの約束」の実践によって高い信頼を築き、広く社会に貢献することを経営方針に掲げて活動しております。

「7つの約束」

- 1 お客様を大切にします
- 2 品質に対して真剣に取り組めます
- 3 誠実かつ公正な取引をします
- 4 企業価値の向上に努めます
- 5 環境と資源の保護に努めます
- 6 地域社会を大切にします
- 7 法令を遵守します

株主優待制度のご案内



株主の皆様へ日頃のご支援にお応えするとともに、当社製品のご利用を通じて、事業内容をより一層ご理解いただくため、毎年3月末日現在の株主名簿に記載または記録されている株主の皆様に対して、所有株式数に応じて、「ヨード卵・光」引換券を贈呈しております。

※実施時期 年1回

- ◆1,000株以上3,000株未満ご所有の株主様  
『ヨード卵・光』引換券・・・5枚
- ◆3,000株以上10,000株未満ご所有の株主様  
『ヨード卵・光』引換券・・・10枚
- ◆10,000株以上ご所有の株主様  
『ヨード卵・光』引換券・・・15枚